



落穂会だより

新春号 2019.1

社会福祉法人 落穂会 障害児入所施設 | 障害者支援施設 | 地域生活支援センター | 障害者支援施設 | 障害福祉サービス事業
 あさひが丘学園 | あさひが丘 | あさひが丘 | あさひが丘 | 旭福祉センター | 第二旭福祉センター
 鹿児島市皆与志町2503番地 (Tel 238-4821) | (Tel 238-4821) | (Tel 243-1112) | (Tel 244-3551) | (Tel 244-3551) | (Tel 244-3551)
<http://www.asahigaokagakuen.jp/> | <http://www.asahi-center.com/>



社会福祉法人落穂会 あさひが丘学園
— 創立60周年記念式典・祝賀会 —

**あさひが丘学園
創立六十周年を迎えて**

平成三十年八月、あさひが丘学園は創立六十周年という節目を迎えることができました。これもひとえに関係行政当局、関係団体、関係施設、ご家族や地域の皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

あさひが丘学園は昭和三十三年八月、初代理事長の水流國彦により鹿児島市永吉町に開設され、本県における民間初の知的障害児施設として、知的障害児の生活支援や教育の場としての役割を果たしてきました。昭和四十九年には現在地である鹿児島市皆与志町に新築移転、平成十一年には知的障害児施設に知的障害者更生施設を併設するいわゆる「児者併設施設」に転換しました。その後、在宅福祉サービスを中心に積極的な事業展開を行い、現在では、十二事業所、総定員数三五五名の規模になりました。

平成二十九年四月、社会福祉法人落穂会は経営理念の見直しを行い、「共生と共創」だれもが「生まれてきてよかった」と思える共生社会を創造する」と思いましたが、「共生社会」実現のために必要なことが二つあると思っています。

一つは、私たちが障害のある人々の「良き隣人」となることです。私たちが、ハンディキャップを持って生まれてきた人々と、喜び、楽しさ、幸せを共に分かち合うと同時に、悲しみ、苦しき、辛さを共に乗り越えていけるような「良き隣人」でありたいと願っています。ハンディキャップを持つ彼ら・彼女らが「生まれてよかった」と思えるような人生を送るために必要としているさまざまな支援を行っていくことが私たちの使命です。

二つめは、能動的で創造的な福祉実践を展開することです。私たちはこれまで、地域の人々に対して障害のある人たちのことを認識し、理解し、受容してもらうことに努力を傾けてきました。が、真の共生社会を実現するためにはそのような受け身の福祉の段階を超えて、障害のある方々の生き様や働き、創造するもの、価値を見出すことやその人たちの支援する福祉施設が原動力となつて、地域を創生したり、新しい価値を生み出したりといった能動的で創造的な福祉実践を行う段階に進んでいくことが必要だと考えます。そのような実践を通して、障害のある方々の存在そのものが大切な存在であるということや地域社会の多くの人が認めるようになったとき真の共生社会が訪れるのではないでしょう



社会福祉法人落穂会理事長
水流純大

行事報告

- 10月2(火)~3日(水) 宿泊旅行:垂水
あさひが丘から利用者7名、職員5名で行って来ました。猿ヶ城溪谷のパンガローに泊まりました。
- 10月7日(日) 海釣り
旭福祉センターでは利用者7名と職員2名で鴨池にある海釣り公園へ釣りに出かけました。
- 10月15日(月)~16日(火) 農福連携マルシェ
アミュ広場にて開催されました。旭福祉センターでは野菜・陶芸品・菓子の販売を行いました。
- 10月16(火)~18日(木) 宿泊旅行:東京
あさひが丘から利用者5名、職員2名で行って来ました。浅草の雷門や浅草寺、ディズニーランドやスカイツリー等観光名所を堪能しました。
- 10月26日(金)~28日(日) ハッピーフェスタバザール
あさひが丘では、ドルフィンポートで行われたバザールに参加してきました。
- 10月28日(日) 春山地区運動会
詳細は、P5をご覧ください。
- 10月28日(日)~29日(月) グループホーム旅行 長崎
旭福祉センターグループホーム利用者がハウステンボスと九十九島クルーズを楽しみました。新幹線での移動も楽しかったとの声がありました。
- 10月29日(月) ガーデンキッズセルク
ハロウィンイベント
マルヤガーデンズのハロウィンイベントに参加しました。子ども達は仮装をしてマルヤガーデンズ内の店舗をまわり、お菓子をもらいました。
- 10月-11月 ペアレントプログラム
ガーデンキッズ 10/17・24・31・11/14・21・28 (毎週水曜日)
地域センター 10/16・23・30・11/6・20・27 (毎週火曜日)
保護者向けにペアレントプログラムを実施しました。
- 10月-11月 あさひが丘CH旅行
10/15日(月)~16日(火) 南薩旅行
10/19日(金)~21日(日) 大阪旅行
11/4日(日)~5日(月) 熊本旅行
11/15日(木)~16日(金) 霧島旅行
11/25日(日)~26日(月) 大分旅行
温泉やカラオケ、仮装を楽しみ、リフレッシュすることができました。
- 11月 児童発達支援みかん狩り
11/2(金) ガーデンキッズトリア
11/13(火) 歩路
11/16(金) 希路
11/17(土) ガーデンキッズセルク
児童発達支援を利用する子ども達のみかん狩りが実施されました。自分達でとったみかんの味は別格だったようです。
- 11月4日(日)・10日(土) 保護者ボランティア
秋まつりに向け、お買い得市の値札付けやテント設営にご協力いただきました。当日の片付けまでありがとうございました。
- 11月4日(日)~5日(月) グループホーム旅行 熊本
旭福祉センターグループホーム利用者が人吉温泉へ出かけました。温泉でリフレッシュして、帰りに生駒高原でコスモスを見て・・・と充実した旅行になりました。
- 11月7日(水) 児童発達支援事業研修会
マルヤガーデンズ7Fにて療育事業所等を対象とした研修会を実施しました。鹿児島市内中央・伊敷・郡山・吉田地区の児童発達支援事業所、児童発達支援センター17か所および市障害福祉課、母子保健課、北部保健センターより計28名の参加がありました。

- 11月11日(日) 第5回あさひが丘 秋まつり
詳細はP5をご覧ください。
- 11月17日(土) 川上小バザー
あさひが丘からはレザーワークショップやアクセサリー等の販売を行いました。旭福祉センターからはパンの販売を行いました。
- 12月1日(土) 鹿児島市立少年合唱隊施設訪問
鹿児島市立少年合唱隊の皆様による演奏会が、あさひが丘体育館で行われました。45年の歴史を誇る合唱隊の歌声は、参加者を魅了し、とても充実した時間を過ごすことができました。
- 12月1日(土) 放課後等デイサービスシュバル公開療育
4事業所5名の参加があり、参加者は、ホースセラピーへの関心が高く熱心に説明を聞き、質問等も多くありました。
- 12月2日(日) 吉野公園クリスマスハンドメイドマーケット
あさひが丘が出店参加しました。午後からは降灰に見舞われましたが、非常に賑わいをみせました。
- 12月3日(月) 旭福祉センター忘年会
旭福祉センターの忘年会がマリノパレスかごしまにて開催されました。毎年恒例のカラオケ大会では今年の流行曲に乗ってみんなで楽しくダンスをする一幕もありました。
- 12月8日(土) 保護者ボランティア
クリスマスツリー飾りつけ
あさひが丘では今年もクリスマスに向け、クリスマスツリーにきれいな飾りつけをしてもらいました。いつもありがとうございます。
- 12月9日(日) いじゅういん梅マラソン
旭福祉センターの利用者12名が3キロの部と10キロの部に参加し全員完走しました。
- 12月13日(木) 児童発達支援センター歩路公開療育
19事業所22名の参加があり、参加者を4クラスに割り振り活動の様子を見学して頂いた後、意見交換会を行いました。
- 12月13日(木) あさひが丘学園創立60周年記念式典
詳細は、P2、3をご覧ください。
- 12月15日(土) 高木バンドクリスマスコンサート
音楽療法の高木先生の仲間14名によるコンサートをあさひが丘にて開催していただきました。
- 12月23日(日) Y.P.O.チャリティーコンサート
あさひが丘利用者・職員を招待していただきました。本格的な生バンドの演奏に圧倒されながら、あっという間に時間が過ぎていきました。
- 12月26日 あさひが丘学園忘年会
ジェイドガーデンパレスで盛大に盛り上がりました。中でも、60周年記念式典の様子が映像で流れたときには、みんなくぎ付けでした。

ベーカリー楓新商品!



旭福祉センター産のみかんをたっぷり使用したジャムは、収穫から加工まで愛情込めて作りました。ベーカリー楓の食パンとも相性ばっちりです。

みかんジャム 480円



最新情報はインスタをチェック→

高木バンド
クリスマスコンサート
今年も思いっきり歌って踊りました!

鹿児島市立少年合唱隊施設訪問
素晴らしい歌声を披露して頂きました

宿泊旅行 in東京
雷門にて

あさひが丘学園

クリスマス!
ツリー飾りつけ

みんなで力を合わせます
保護者ボランティア

桜島をバックに散策中です
宿泊旅行 in重水

テント設営

旭福祉センター
今からハウステンボスを満喫します☆

すなつぶスナック
児童発達支援事業研修会

あさひが丘 忘年会

おいしい料理にお酒。大満足でした。
忘年会

探れたよー
みかん狩り

児童発達支援

ハロウィンパーティー楽しいね

みんなの練習の成果が出たかな?
梅マラソン

地域生活支援センター
バスまだかなあー

GH旅行 in霧島
GH旅行 in南薩

薩摩酒造在津川茶舗所
明治蔵 昇學記念
平成30年10月15日

社会福祉法人 落穂会 あさひが丘学園 創立60周年記念式典・祝賀会

平成30年12月13日、鹿児島サンロイヤルホテルにおいて、あさひが丘学園創立60周年記念式典が開催されました。上之園彰鹿児島市健康福祉局長、井上博日本知的障害者福祉協会会長をはじめ、252名の皆様のご臨席を賜りました。



来賓祝辞

鹿児島市健康福祉局長
上之園 彰 様

日本知的障害者福祉協会会長
井上 博 様



理事長挨拶

社会福祉法人落穂会 理事長
水流 純大

乾杯



鹿児島県議会議員
藤崎 剛 様



「あさひが丘学園のこれまでとこれから」(ムービー)
職員により作成した60周年記念式典ムービーを
上映しました



引き出物

贈花

よしだポップスオーケストラ
中島 徹巳 様



会長サプライズ

創業期からあさひが丘学園を支えてくださった水流通大会長にサプライズで感謝の気持ちをお伝えしました



感謝状贈呈

音楽療法 講師 高木 優子 様



永年勤続表彰



万歳三唱
鹿児島市議会議員
仮屋 秀一 様



保護者代表挨拶
あさひが丘学園保護者会会長
川畑 岩夫 様



代表者謝辞
八反田 憲治 様



理事長サプライズ



利用者代表挨拶

グループホームももか
吉田 亜美 様

黒豚プラス演奏



社会福祉法人落穂会 統括副施設長
水流 かおる



今回の式典の企画は、将来の落穂会を担う若手職員でプロジェクトを組んで行って参りました。自分たちが生まれる前から続くあさひが丘学園に携わってこられた多くの方の思いに触れること、そして未来のあさひが丘学園を描いてみることを通じて、私たちの仕事の「価値」を見つめなおすことができました。
先人の意志を引き継ぎ、時代とともに刻々と変化するニーズにお応えするべく、日々の支援に邁進していきたいと思っております。
ご臨席・ご祝辞・ご祝花をいただいた皆様に改めて感謝申し上げますとともに、今後のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
(60周年記念式典実行委員より)

「私の夢」

さんぽみち

グループホームあさひが丘
利用者

山田 菜奈美



私がグループホームくくるみで生活をしようになったのは、一年がたちました。一番変わったことは、仕事に自分から行くことと思ったり、職員やパートさんと一緒に料理の手伝いをするようになったことです。
休日は自分の部屋で、大好きなアーティストの歌を聞いたり、ダンスを思い切り踊って楽しむことができている。それから、自分で化粧をして、雑誌などの色々な買い物にみんなどで行ける事も楽しみの一つです。今は、あすもねで千年メディカル清

「ぼくのついで」

旭福祉センター利用者

浜崎 健



のどかではたらいで十年になりました。さいしよはきんちようしました。
今は、おきやくさまにあいさつやおはなしをしています。今は、きんちようをしていません。
ぼくのしごとは、そうじとおちゃわんをあらったり、おりようりをはこんだりしています。
しゅう(週)に2回メンテにしています。びよういんのそうじにしています。へやのそうじをしています。
のどかとメンテたいへんだけどぼくはがんばります。

「出会いに感謝する」

旭福祉センター職員

岩切 拓磨



私が旭福祉センターに就職して四年が経ちます。普通高校卒業後農業の大学でインゲンマメの試験や切花の栽培を学んで参りました。福祉とはかけ離れた分野にいた私が、旭福祉センターに就職するきっかけが大学の先生にあります。
大学四年の時、その先生から「福祉施設に興味はないか」との話をいただきました。当時はすでに農業系の会社に就職が決まっていたのですが、度重なる誘いに一度見学に行くことにしました。
今でも鮮明に覚えておりますが、園庭に車を止め、車から降りるとすぐに向こうの方から元気な挨拶が聞こえてきました。その挨拶の正体は、後々蔬菜班で共に作業をする利用者Nさんでした。Nさんが満面の笑顔で私を迎え入れてくれ、大変嬉しくなったことを覚えています。
それから瞬く間に四年が経ちました。こうして今、利用者さんと野菜づくりに励み、衣食住を共にする中で、利用者さんからの「ありがとう」の言葉が大変嬉しく思います。

「ありがとう」
たったひとりの言葉ですが、そのひとりにこの仕事のやりがいを感じます。
今、四年前を振り返ると大学の先生は私の性格や適性を考え、何度も勧めてくださったのではないかと思います。それがなければ利用者さんや職員の皆様との出会いもありません。
こうして今、農業をしながらやりがいを感じる仕事ができることに感謝をしています。人との出会いは、新たな出会いに繋がっていることを肌で感じました。これからも人との出会いを大切に。一社会人として常に成長するために、初心を忘れず勤めたいと思っています。

さんぽみち



第5回 あさひが丘秋まつり



11/11 (日)、さわやかな秋晴れの空のもと、「第5回あさひが丘秋まつり」が開催されました。昨年を大きく上回る1300名もの方に足を運んで頂き、



この場を借りて改めて感謝申し上げます。オープニングを地元春山地区の棒踊り保存会に飾って頂き、こちらも地元、きずな会による舞踊、学園利用者や職員、保護者による出し物は、地域交流を目指す私たちにとってまさに学園・地域が一体となった取り組みとなりました。もちろん、国際大学創生児によるよさこいや、

蒲生郷太鼓坊主による演奏は、素晴らしいパフォーマンスで来場者を魅了してくれました。前述の舞台発表に加え、野菜や創作品、メダカの販売に動物ふれあいコーナー等、地域・一般の方にも沢山のご協力を頂きました。

また、第2会場では、600名を超える多くのお客様にお越しいただき、天候に恵まれた中、乗馬クラブ「シュバル」での引き馬体験や馬との触れ合いに、ご家族や友だちと

笑顔で楽しめるお客様の姿がありました。今年豊作に恵まれたみかん園では、色鮮やかに実るたくさんのみかんの中から、美味しそうのみかんを探しては、持ちきれないほどのみかんを収穫袋いっぱい抱えるお客様の姿に喜びを感じました。回を重ねる度に、多くの方々の笑顔に出会えます。地域の方々と過ごす、素敵な一日になりました。



春山地区運動会

10月28日(日)に春山地区運動会、お楽しみ食事会がありました。グラウンドの草払いや運動会の準備にも利用者、支援員で手伝いに行ったので、利用者の方々も当日を楽しみにしている様子でした。

運動会では地域の子もたちからご年配の方まで幅広く参加がありました。各競技では大いに盛り上がり、応援や競争にも熱が入っていました。

運動会後にはお楽しみ食事会(芋煮会)が開かれ、地域の方々と交流しながら、おにぎりと豚汁を美味しく頂きました。



第54回ふれあいバザー

11月23日(金)、第54回ふれあいバザーが旭福祉センターにて開催されました！

約1500名の方にご来場いただき、盛況のうちに終わることが



できました。

旭福祉センターで作った野菜・陶芸品・菓子・味噌の販売、体験ブース、軽食コーナーなど・・・みなさまに楽しんでいただくことができましたのではないのでしょうか。

午後からは知的障害者サッカー日本代表監督 西真一氏の講演会もあり、こちらもたくさんの方にご参加いただきました。また、多くの方に出店やバザー運営のご協力をいただきました。皆様ありがとうございました。



川上小学校 体験学習

11月27日(火)、29日(木)、30日(金)に川上小学校の4年生が福祉学習の一環として旭福祉センターへ体験学習に訪れました。

児童のみなさんには利用者の方と一緒に、普段、旭福祉センターで行っている活動の体験をしてもらいました。始めは互いに緊張している様子でしたが活動が終わるころには笑顔もみられ、良い経験になったのではと思います。

